【明治5年創刊】明治25年3月8日 第3種郵便物認可 ©毎日新聞社 2015

MAINICHI
毎日新聞
8月20日（木）
2015年（平成27年）
発行所：東京都千代田区一ツ橋1-1-1
〒100-8051　電話(03)3212-0321
毎日新聞東京本社

号外

東海大相模V

仙台育英降す

45年ぶり2度目

第97回全国高校野球選手権大会（日本高校野球連盟、朝日新聞社主催、毎日新聞社後援、阪神甲子園球場特別協力）は最終日の20日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で決勝を行った。東海大相模（神奈川）が仙台育英（宮城）を10―6で破り、1970年以来、45年ぶり2度目の優勝を果たした。東海大相模は10回目の出場で、準優勝した2010年以来となる3度目の決勝だった。神奈川勢の優勝は、98年に春夏連覇を果たした横浜以来で通算7回目。2年ぶり25回目の出場だった仙台育英は、宮城勢として初めて決勝に進んだ89年に続く準優勝だった。

第97回全国高校野球 100年
主催 日本高校野球連盟・朝日新聞社
毎日新聞社後援　阪神甲子園球場特別協力

決　勝
（20日・甲子園）

仙台育英を降して優勝し喜ぶ東海大相模の選手たち＝阪神甲子園球場で20日、大西岳彦撮影

東海大相模（神奈川）	2	0	2	2	0	0	4	10
仙台育英（宮　城）	0	0	3	0	0	3	0	6

東海大相模は一回、千野の左前打を足がかりに1死二塁とし、杉崎、豊田の連続適時長短打で2点を先取した。さらに三回、連打などで1死一、二塁とし、磯網の左前適時打、長倉の左翼線適時二塁打で2点を加えた。

仙台育英はその裏、敵失などで1死二塁とし、青木の中前適時打で1点。さらに平沢の二塁打で二、三塁とし、郡司、百目木の連続適時打で、この回計3点を返した。

東海大相模は四回、宮地の左越え適時二塁打と豊田の左前適時打で2点を加えた。

仙台育英は六回、代打・西巻、谷津の連打などで2死満塁とし、佐藤将の中越え3点適時三塁打で追いついた。

東海大相模は九回、先頭・小笠原の右中間本塁打で勝ち越し。さらに宮地、杉崎、豊田の3連続長短打などでこの回計4点を挙げた。

東海大相模の小笠原は九回を無得点に抑え、完投した。

購読お申し込み
毎日新聞のニュースサイト
http://mainichi.jp/
専用フリーダイヤル 0120-468012（ヨムハマイニチ）